

第124号

高月小学校PTA

<発行者>
丸山直樹

<編集>
調査広報部

たかつき PTA会報



「美しき世界は感謝の心から」

PTA会長 丸山 直樹

春の風が快い季節となり、日増しに暖かくなってきました。三十九名の六年生のみなさん、卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。

さて、卒業生のみなさん、これからの中学校生活では今まで以上に自分で考え、自分で決めて、自分から行動することが多くなり、

「さっこない」と簡単にあらためたり、最初から自分の可能性に「ふた」をしたりしないで下さい。やっでもないうちからあらためていたのでは何もできません。失敗を恐れず、自分を信じてどんどんチ

ヤレんじしてください。

そして悩んだ時には、一緒にあって喜んだり考えたりしてくれる家族や学校の先生、いつも温かく見守って下さる地域の方々、みんなの温かい愛情に守られていることを思い出して下さい。みなさんの未来の可能性は無限大です。未来を楽しみ、これからは「感謝」の気持ちを忘れず、一歩一歩前進してほしいと思います。

高月出身でヤンマー初代社長山岡孫吉翁の言葉を紹介したいと思います。「人生というものは、運不運に左右されることも大ききろうが、それでも誠実さと感謝の心を失わないで努力しておれば、よき協力者を得て道も開け、人から



『節目の時』

学校長 美濃部 俊裕

ようやく寒かった冬が終わり春を迎えようとしています。畑でこぶしのとうを見つけたが、遠くの山にはまだまだ雪が残っています。そんな中でも竹は節をつくって天に伸びようとしています。

世界の国の中で文化を進展させている国は、冬の支度を知っている民族だといえます。厳しい季節に耐えるための冬支度が人に強い「節」をつくるというのです。

昔から、立派な絵や音楽、科学の発見などは忍耐と苦勞の中から生まれるといえます。「豊かになれは必ず志を失う」とさえ言った人もあります。あまりにも恵まれた中からは進歩が生まれえないということ。

中学校では、英語の単語を暗記したり、何回も計算練習をしたり、部活動で汗を流したり、小学校にはないことが待っていることでしょう。しかし、そういった苦勞は青春、竹でいうところの節なのです。人生にとって、またとない大事な節ができる時です。

なつかしい先生方は、別れの時、みなさんを送り出す日が必ずくるという思いで、厳しく指導してこられました。それは、困難に出会ってもあきらめず粘り強く歩んでいく人に育ってほしいという願いからです。

先日、地球儀とグラウンドピアノのお披露目会がありました。この節目の年に皆さんが六年生であ

ったことは、今後まきつと記憶に残ることと思います。「宇宙戦艦ヤマト」の演奏は地域の皆さんに感動を与えました。この曲、また山岡孫吉翁のように志を高く掲げ、前に進んでいってください。

今日は、みなさんが六年間くわした高月小学校との「別れの時」です。先へ進もうとする者は、なつかしいものに別れを告げなければ、新しいものに出会うことはできません。

いま明るくて、おめでたい「別れの時」が来ました。それではみなさん、お元気で、さようなら。



こんなに大きくなりました。

いままでありがとうございました。



自分らしく

副会長 浦江 三和子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

もう卒業ですね。月日の流れの早さを感じます。

入学式の時、校長先生から手渡していただいた教科書を、キラキラした瞳で見つめていた皆さんの顔が懐かしく思い出されます。

国語の教科書に金子みすゞさんの「わたしと小鳥とすず」という詩がのっていたのを覚えていますか？私は、この詩が好きです。「みんなちがってみんないい。」あなたはあなたでいいの、一人ひとりが、それぞれに光り輝いている大切な存在、そんな内容の詩ですね。本当に優しい気持ちになれます。

中学生になっても、自分らしく輝いていてください。時には失敗もあるかもしれませんが、それも

生活指導部の一年を振り返って

生活指導部長 山岸 賢一

今年も、二年に一度の「あさおこし運動」が発案ポスターづくりの年でした。

夏休み、たくさんさんの宿題がある中で、大変多くの作品をお寄せいただきました。自由な発想で工夫を凝らした作品の数々、担当いたしました部員一同、驚きと感動を覚えたことが思い出されます。

あさおこしと感謝の言葉がらばめられた、豊かな人間形成を育むこの運動。校内だけではなく、地域の大人にもますますの拡がりを感じていただいております。

また、親子ふれあい強調月間にも、各ご家族ならではの取組と感想をいただき、親子へ注ぐ温かなまなざしが、行商業の大切さを改めて感じ取りました。

最後ではございますが、保護者の方のみなさまや先生方のご指導とご

また人生の糧になります。失敗を恐れずに自信をもって前進してください。

最後になりましたが、先生方、地域の皆様には子ども達を温かく見守っていただきありがとうございます。

卒業生のみなさんへ

副会長 赤居 徹弥

六年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

小さな背中に大きなランドセルを背負って登校したあの日から六年の月日が過ぎました。不安や心配・期待や希望に胸を膨らませて通い、今この時を迎え、改めてたくましく成長してくれたことを何よりも嬉しく思います。

今後の人生において皆さんは、いくつかの壁にぶつかるとは思いますが、そんな時に思い出してほしい言葉があります。

協力のもと、無事に一年を終えることができました。また、貴重な経験をさせていただき合わせて感謝を申し上げます。

会員研修部 部会活動報告

会員研修部長 岩本 哲也

PTA会員の皆様、この一年間会員研修部の活動にご協力いただきありがとうございます。ひびきあい活動、救急救命講習、夏休み地区別水泳、講演会。手探り状態でありましたが、無事終えることができました。

これも部会長、先生方のご協力があったので、感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。

今回、PTA活動に参加させていただき、学校の事、子供たちの事、より理解を深められ良かったと思っております。部会員の皆様、お疲れさまでした。

「人生は、やり直すことはできない。見つめ直すことはできる。」という言葉です。辛い時、迷った時に先生方や地域の皆様、そして家族から学んだ事、経験した事を思い出して、四月から始まる中学校生活に是非役立ててほしいと思います。きっとその時を乗り越えられるでしょう。皆さんが周囲の人を支え、見守ってくださいます。

卒業生のみなさんに向けて

母親代表 柴田 ちなつ

皆さん御卒業おめでとうございます。皆さんの入学した頃の可愛い可愛い姿、今でもウケる、ヤジリたがる男の子達、思い出せますよ。三年生までは少人数で過ごし、四年生からはクラス編成。皆さんは順応して立派に成長していきなされたね。一クラスの団結力を感じたのが運動会の際

環境福祉部の一年を振り返って

環境福祉部長 小森 真和

今年度初めに環境福祉部長になった時は、どうなるかと思いましたが、皆さんの状態でしたが、部員の皆様、先生方、保護者の皆様にご協力頂いて無事終えることが出来、感謝申し上げます。

アルミ缶回収や資源回収では、資源の大切さを考える機会を頂き、又、奉仕作業では、助け合いの心絆を育めたのではないかと感じております。

今年は、長年、本校がアルミ缶回収に、積極的に取り組んでいるということで、アルミ缶回収サイクル協会より感謝状を頂きました。このことは、今後の活動にも、励みになるかと思っております。これからもこのような活動を通じて、子ども達には感謝の心を育ててほしいと思っております。保護者の皆様、一年間、ご協力ありがとうございました。

「協力ありがとうございました」

平成二十五年年度

資源回収収益金	二四〇、七二〇円
第一回	一四四、一一〇円
計	三八四、八三〇円
利息	一八円
合計	三八四、八三八円
アルミ缶回収収益金	三〇、一七〇円

資源回収・アルミ缶回収収益金から

- 図書室改修材料費
- 運動会入退場門材料費
- 音楽室楽器・譜面台等
- 高月小フェスタ材料費
- 壁掛け用掲示板
- スキー教室補助
- 卒業式・入学式補助

(卒業生徽章リボン等)

皆様のご協力に感謝申し上げます。

編集後記

本年度、PTA調査広報部は事業計画通りに年三回のPTA広報紙「たかつき」を発行することができました。発行に当たり、ご協力いただきましたPTA本部役員・各事業部長の皆様には、寄稿及びご指導いただきました。大変ありがとうございました。調査広報部一同